

◎ 長門

君が代踊が伊勢へ



豊受大神宮（外宮）で君が代踊

10月15日・16日の2日間行われた第37回伊勢神宮奉納全日本民謡踊大会に、真木の君が代踊が出演。全国7ブロックから選抜されたお国自慢の民謡踊とともに神宮で、太鼓や鉦、笛の音にあわせ、威勢よく奉納されました。

神聖で荘厳な神域の豊受大神宮（外宮）や皇大神宮（内宮）で奉納ののちは、伊勢市観光文化会館で一般市民に踊りを披露。各会場で観客から多くの拍手を浴びていました。

君が代踊は、江戸時代から洪木八幡宮や真木大歳神社に奉納されていましたが、明治以降途絶えていました。昭和38年に復活し、受け継がれているものです。

君が代踊保存会の20名が、日頃鍛えた練習の成果を発揮し、長門に「君が代踊」ありと宣伝しました。